

## 授業改善推進プラン

文京区立茗台中学校

教科名（保健体育） 指導者名（西戸、宮原、伊藤）

### 生徒の状況・課題の分析

<p>(第1学年)</p> <p>体育実技については、全体として課題に対してよく取り組んでいる。ただし、運動機会の減少によるのか、運動に対して自信のない生徒や基礎体力が十分でない生徒もいる。授業を自分たちで作っていくという観点からも毎時間の準備運動・ランニングは大切なものと考えているが、クラスによって取り組みの違いがみられた。必要な声掛けを継続しながら、主体的な取り組みで定着させたい。また、意欲的な取り組みについては個人差がみられた。特にバレーボールでは、個人技能によるところが多いと考えられるが、試合形式での積極的参加については個人の差が大きい。</p> <p>体育理論については、授業の内容に対してよく聞き、考えている生徒がとても多い。また、意見交換などの話し合い活動は概ねよくやっているが、中には話し合いや発言に消極的な生徒もいる。</p>
<p>(第2学年)</p> <p>学びに向かう姿勢が高く、授業アンケートの結果からも2分前着席や必要なものの準備が出来ているという生徒が大半を占めていた。グループワークではリーダーを中心に運動が苦手な生徒へフォローや声かけを行い、仲間を大切にすることを重視して見られた。しかし、授業アンケートの「話し合いなどを積極的に進めていますか。」という質問に対し、約30%の生徒が、「あまりそう思わない」や「思わない」と回答しており、言語活動が苦手な生徒も多く存在することが分かった。引き続き、全員が運動を楽しむことができ、言語活動の機会を多く設け、発言のしやすい雰囲気な授業を展開していく。</p>
<p>(第3学年)</p> <p>授業への興味・感心が高く、意欲的に取り組んでいる生徒が多い。運動が苦手な生徒に得意な生徒が教えたり、フォローや声掛けをするなど、チームワークを大切にすることを促すことができた。しかし、授業アンケートの「話し合いや発言などを積極的に進めていますか。」という質問に対し、約25%の生徒が、「あまりそう思わない」や「思わない」と回答しており、話し合いや発言が苦手としている生徒もいる。全員が練習や試合に楽しんで参加し、話し合いや発言がしやすい授業を展開していく。</p>

### 教科の目指す育てたい力

<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動に対する関心・意欲・態度の向上</li> <li>・自ら課題を発見し、解決する能力の育成</li> <li>・仲間との上手なコミュニケーションを図る力の育成</li> </ul>
---

### 授業改善推進プラン（課題解決のための具体策）

<p>(第1学年)</p> <p>体育実技については、種目によって適切な課題設定をして“できること”を増やして積み重ねられるようにしたい。仲間同士で助言しながら取り組めるようなグループ作りをしていきたい。また、その中でタブレットなどの視聴覚教材を活用させたいと考えている。</p> <p>体育理論については、わかりやすいようにパワーポイントでの画面とプリントに沿って授業展開した。授業形態は継続していき、基本的な知識を伝え、それをもとに自分の考えを持たせ、話し合いや発表できる場面を多き取り入れたいと考えている。</p>
<p>(第2学年)</p> <p>2学期はよりグループワークなどの言語活動の時間を多く確保する。これらの活動を活性化させる手段としてタブレットなどの視聴覚教材を活用し、課題の解決を目指す取り組みをする。また学習カードには技のポイントや気づいたことを書き込めるようにすると共に「仲間にアドバイスしたこと」という欄を設け、生徒同士が主体的に教え合うことを意識づけする。</p>

(第3学年)

2学期では、自らの課題やチームの課題を、見出し、決めることができるように話し  
合いの時間を活用し、練習したり、の時間を、その際、どのポイントで、物や気が付  
活発に書き込めるように、友達に、夫、スペースを、す、作成、し、資料、に、な  
こ表、友、達、に、ア、ド、バ、イ、ス、を、す、る、ま、た、の、資、料、を、少、数、の、人、に、見、よ、う